

2011年度 活動総括

1. 安心して子どもを産み育てられるまちづくりを目指す取り組み

＜各園父母会の同意と協力のもとで、幼児クラス（3・4・5才）での主食提供開始＞

2010年度の市長懇談会における田中市長の「完全給食（幼児クラス：3・4・5才児での主食提供）に向けて前向きに検討していきたい」との発言を受け、4月から父母会の同意と協力が得られた園から順次、幼児クラスにおいて主食の提供が始まりました。折しも東日本大震災の影響から電力不足となり、節電が叫ばれる中で持参した弁当が冷房の効いていない部屋で衛生的に管理できるのかといった不安の声が保護者から上がっていましたので、この主食提供は概ね歓迎されました。しかしながら、主食代の徴収が父母会の責任によって行われたことや、徴収した主食代が余った際にその残金をどう還元すべきか検討しなければならず、各園父母会にかかる負担が大きくなるという問題を抱えることとなりました。これらの父母会負担を懸念した園や、父母会として主食提供への賛意をまとめきれなかった園は、残念ながら主食提供を断念せざるを得ない事態となりました。

父母連としては、こうした現状を市行政や市議会等へ働きかけました。その結果主食提供の意義とその重要性を市長をはじめとする市行政や市議会が認めてくださり、2012年度からは、市内全ての認可保育園（公立・私立）において主食が無償で提供されることとなりました。市の英断を高く評価し、今後もこうした市のがんばりを引き続き応援していきましょう。

＜私立認可保育園4園と1分園がスタート＞

2010年度より計画がすすめられてきた、私立認可保育園4園と1分園が2011年4月にスタートしました。これらの新設によりおよそ480人の定員増となり、これまで爆発的に増える待機児のために保育園で実施されていた定員の弾力化の解消と一定程度の待機児解消がなされました。定員の弾力化についてはおよそ半減（平均約10%の弾力化が、平均約5%へ減少）、待機児については4月の待機児が44人の減少でした。私たち保護者としては大変喜ばしいことであり、待機児解消に向けた市のがんばりの成果だという思いを新たにしました。しかし待機児については、保育園新設による新たなニーズの掘り起こしもあった影響か、徐々に増え始め、2011年度末の待機児数は、前年度同期とほぼ同数の530人とほぼ横ばいとなっています。

また私立認可保育園で始まった多彩なサービスはこれまでの公立保育園では行われなかったものも多く（最大夜8時までの延長保育、文具や布団の用意を園側で行う等）、同じ認可保育園でありながら差異が生じている状況に戸惑いを感じ、公立・私立どちらの認可保育園に通わせるべきかと悩んでいる保護者もいます。今後もこうした声はさらに高まっていくことが予想されます。2012年度には、さらに新設の私立認可保育園2園がスタートします。これまで公立保育園が培ってきた質の高い草加の保育実践はぜひ職員の実践交流を通してさらに充実させていただきながら、私立・公立がそれぞれ刺激し合い、お互いの良い部分を共有し合い、高め合えるような関係づくりを市にもお願いしていく必要があります。

2. わかりやすく、やりがいのある父母会・父母連づくりへの取り組み

＜父母連ニュースの発行＞

各保育園の保護者の皆さんに、父母連としての活動や各園での取り組みについてわかり易くお伝えするために、毎年事務局からは「父母連ニュース」を発行しています。

2011年度は、計7回発行(4/1・6/11・7/2・9/10・11/12・1/14・3/10)し、「入園・進級おめでとう号」／『第26回父母連総会報告／2011年草加市保育事業説明会の報告／2011父母連アンケートのお願い／2011父母連アンケート集計結果報告／育成保育保護者会報告／第47回草加母親大会報告／各園会長会報告／市長懇談会報告／第29回埼玉子育て・保育のつどい報告／父母連役員告示、等々についてお伝えしてまいりました。よりわかり易いニュース作りをめざし、2012年度も取り組

んでいきたいと思います。ご意見等ございましたら、各父母会役員もしくは父母連メール info@soka-fuboren.org までお願いします。

＜会長会・代表者会の開催／各父母会分担体制により皆で支え合う父母連活動＞

2011 年度は年 3 回の会長会（6・9・1 月）そして年 11 回の代表者会（5・6・7・9・10・11・12・1・2・3・4 月）を開催してきました。会長会では各園の状況や父母会運営についての情報交換などが行われました。代表者会では、①父母連事務局から各園への様々な事務伝達や報告 ②父母連活動方針や内容の検討 ③各園からの報告 ④保育情勢などに関する学習 などを行いました。各園の会長や代表者の皆さん、ご協力ありがとうございました。今年度の会議を通して出されましたご意見・反省点は、是非 2012 年度に生かしていきたいと思います。

また、専従のいない父母連活動を皆で支えて行こう、との確認のもと、2011 年度は、2010 年度に引き続き「父母連活動分担年間予定表」にもとづいて、印刷作業などの父母連事務局の仕事を各父母会と分担し合いながら活動を行ってきました。お陰様で、事務局の負担も軽減されました。ご協力ありがとうございました。

＜父母連アンケート（9 月）の実施や市長懇談会（2／10）への取り組み＞

父母連の活動は、各園の保護者の皆さん一人ひとりの声が集まって初めて可能となるものです。そのためにも各園の声を会長会や代表者会で直接情報交換し合うと共に、年に 1 回、約 1700 全世帯に父母連要求アンケートを行い、一人ひとりの声を市への要望書や保育改善運動に反映させるための大変重要な取り組みを行っています。その集計結果は父母連ニュースにてご報告したり、集計結果を各園にお配りしたりしておりますので、皆さんでご覧いただいたことと思います。

2011 年度も父母会毎にアンケートのデータ入力をお願いしたり、父母連ホームページから引き出した書式にまとめたものを父母連メールにて送付していただいたりするなど、集計作業がより効率化でき、皆さんの意見をまとめることができました。担当していただきました皆さん、ご協力をありがとうございました。2011 年 9 月に実施した父母連アンケートの結果、次のような傾向がみられました。

- （1）保育料について、3～5 歳児では「適正」と「とても高い・高い」がほぼ半数であるのに対し、0・1・2 歳児では約 65%以上が「保育料が高い」と感じている。
- （2）保育内容や給食には 87%以上が「満足」「まあ満足」と高い評価になっている。
- （3）クラス人数に対する適正度は 3～5 歳児クラスでは「適正」と感じている割合が比較的低いが、それでも全年齢を通して 65%以上の家庭が「適正」と感じている。一方、施設設備については「満足」「まあ満足」を合計しても 50%程度であり、約半数の保護者が施設設備に不満を感じている。
- （4）緊急待機児対策としての定員弾力化についての回答は「良い」「仕方ない」の合計が約 77%と、現状に鑑み保護者の中で一定程度その趣旨が理解されている。昨年度と比較して肯定的な意見の割合が多くなっている背景には、今年度から新設保育園が増えて、弾力化の比率が低くなっていることが影響していると思われる。
- （5）約 78%が時間外・延長保育を利用している。また約 75%が時間外・延長保育について「今のままでよい」としている。延長保育の実施園が、徐々にではあるが増えてきていることで年々この数値が上がってきている。
- （6）完全給食については、全体の約 90%が完全実施を望んでおり、なおかつ全体の約 60%が父母会による徴収ではなく、市が主食代を徴収することを望んでいる。
- （7）実現を望む項目の第一位は例年同様「保育料の引き下げ」であるが、第二位が「病児保育の充実」となっており、例年上位の「完全給食の実施」が一部の園で実施されたことを受けて、数値が低くなっている。

（アンケートについては「項目が多くてデータ集計が大変」「もう少し簡素化してほしい」という意見を多くいただいています。アンケートの項目については 2012 年度の検討課題としていきたいと

思っています)。

これらのアンケート結果や各父母会のご意見をもとに要望書などを作成し、2011 年度は 2/10 に開催された「市長懇談会」での話し合いなどに反映させました。その結果、完全給食に関しては市長自身の発言から「全認可保育園での無償化」が約束され、その結果として 2012 年度当初からは全園で主食が無償で提供されています。全園での主食提供が私たち保護者の長年の切なる願いでした。しかも無償での提供ということで、保護者の喜びもひとしおです。こうした市の英断を評価し、市のがんばりを応援しつつ、今後も情報交換をしながら、よりよい草加の保育を目指すべく運動を進めていきたいと思っています。

＜父母連ホームページの充実＞

2006 年度に立ち上げた父母連のホームページですが、2007 年度以降は父母連の活動をより多くの方に知っていただくために「父母連の活動／草加市の保育園／これからの予定／おしらせ」などの内容の更新を行ってきました。専従体制のない中でなかなか更新がままならない時期もありましたことをお詫び申し上げます。一方でこれまで以上に父母連メール info@soka-fuboren.org を通して、皆さんのご意見・ご質問をキャッチし、父母連事務局としてできるだけ迅速に対応できるようになりました。2011 年度も、ホームページや父母連メールが情報発信の役割だけではなく、回答用紙のダウンロードや回答のメール送信、問い合わせ等の相互に情報交換できる役割も果たせるよう工夫しています。今後もホームページやメールを通して、父母連活動が父母連会員一人ひとりにとって身近でわかりやすく、リアルタイムに声を反映できるよう工夫していきたいと思っています。

3. 私たち自身が学べる組織活動をつくる取り組み

＜「第 29 回埼玉子育て・保育のつどい」(12/11)への参加協力＞

2011 年度は、毎年埼玉県内で行われている「埼玉子育て・保育のつどい」の開催地が草加市と決定したことを受け、これを例年行っている「草加子育てのつどい」に代わる大きな学習会と位置付け、各保育園父母会からたくさんの参加者を募り、ご参加いただきました。おかげさまで参加者は 560 人（主催者発表）と大勢の参加者で活発な論議がなされました。

つどいの記念講演では、「元年越し派遣村村長・内閣府参与(当時)、湯浅誠さんによる講演会」が行われました。現在の保育行政や保育を取り巻く諸問題と貧困についてもお話しいただき、私たち保護者もこれからの保育について、考えを深めることができました。また各分科会では「子ども・子育て新システム」や「赤ちゃんの保育事故を考える」等々、多様な学習会が設けられ、各園からの多くの参加者の学びの機会となりました。2012 年度は例年通り「草加子育てのつどい」を開催予定です。



＜各園父母会主催「CAPワークショップ」への補助＞

2011 年度の「CAP (Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止) ワークショップ」は各父母会企画で行い、父母連としては大人ワークショップの講師交通費と子どもワークショップ 1 回分の講師交通費を補助する形で応援してきました。2012 年度も子どもを守る取り組みを支援することを目的に、各園への補助を行っていく予定です。

4. 共同の輪を広げる取り組み

＜「第 6 回育成保育保護者交流会」(7/30)の実施／

「学童発達保障プロジェクト保護者交流会」(10/2)に参加＞

草加市内には 2010 度 4 月から公立の早期療育施設として子育て支援センターが開所されましたが、未だに障がいのあるお子さんの数が多く、十分に利用できない面も見受けられるのが現状です。また両親共働きの家庭においては市の育成保育制度を利用することとなりますが、各園に在籍している育成保育のお子さんは数名です。そのような状況で、保護者同士の交流や情報交換の場として父母連が提供してきている「育成保育保護者交流会」が今年も開かれました。育成保育保護者のみなさんの交流の輪が着実に広がっています。この場で出た意見は市への要望書などに反映させるとともに、「もっと就学に関する情報がほしい」との要望を受けて、学童保育の会主催の「学童発達保障プロジェクト保護者交流会」に今年度も父母連事務局が実行委員として参加させていただきました。学齢前から学齢期への切り替わりの時期、学校選択等で悩む保護者同士の情報交換・学習の場として、今後もこれらの交流会に関する情報を積極的に発信していきます。

＜民主教育をすすめる草加市民会議＞

主に小中学校・高校の教育の課題に取り組むゆるやかな集まりで、父母連も団体に加入しています。少人数学級の実現や市内の小中学校の給食の民営化問題、定時制高校廃止問題等私たち保育園保護者が数年後に当事者として直面する学校教育をめぐることがらを、学校の先生、学童保育の指導員や保護者、女性団体と日常的に意見交換やとりくみを作っています。父母連からは保育情勢を発信し、この会にあつまる市民との共有や一緒のとりくみをすすめています。

＜草加母親大会＞

「生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」を合言葉にした半世紀以上の長い歴史のある、母性を核にして暴力と貧困のない世の中作りを取り組む運動体に、草加父母連も加入しています。9 月の草加母親大会（勤労福祉会館）の乳幼児分科会には父母連が運営責任団体としてかわりました。

